

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生情報ビジネス 専門学校		昭和60年12月24日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-32 (電話) 092-415-2291		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999		
目的	高度情報化社会に対応した、即戦力として活躍できるエンジニアの育成を目指す。専門技術を深く幅広く学習するだけでなく、論理思考力やコミュニケーション能力を身に付ける。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	工業専門課程		情報工学科				平成22年文部科学 大臣告示第34号
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3788	1964	2156	0	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
120人		106人		4人	4人		8人
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日			成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テストなどの総合評価		
長期休み	■夏期休業：8月6日から9月6日 ■冬期休業：12月25日から1月5日 ■春期休業：3月1日から4月10日			卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 学年の出席率90% ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制： 有			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動		
	■長期欠席者への指導等の対応 面談、保護者への電話連絡				■サークル活動： 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 情報サービス業			主な資格・検定等	基本情報技術者試験		
	■就職率 ^{※1} : 100 %						
	■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 %						
	■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日)						
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成27年5月1日 在学者 105名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 104名 (平成28年3月 卒業者を含む) 平成27年2名転出		■中退率 1.0 %				
	■中途退学の主な理由 他分野への進路変更						
	■中退防止のための取組 入学説明会での職種およびカリキュラムに関する説明、定期的な面談						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/abcc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や、地域産業振興の方向性などについて意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質を確保する事を目的とする。教育課程編成委員会で意見交換した内容や企業・団体からの要望などをカリキュラム会議にて精査し、次年度以降の授業実施科目、教科書教材の選定、および授業内容の創意工夫に反映させる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
田中 一弘	社団法人福岡県情報サービス産業協会 事務局長
戸倉 彩	日本マイクロソフト株式会社 テクニカルエバンジェリスト
竹口 伸一郎	麻生情報ビジネス専門学校 校長
荒木 俊弘	麻生情報ビジネス専門学校 校長代行
久家 政人	麻生情報ビジネス専門学校 リーダ

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月3日 18:00～18:40

平成27年度 第2回 平成27年11月6日 16:05～18:00

平成28年度 第1回 平成28年7月1日(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

基礎知識を体系的に学習した学生に対して、実践能力を向上させる目的で研究テーマの選定や技術指導など、演習科目を中心に企業等と連携した授業を実施する。実践的な技術指導を受けるだけでなく、技術者と直接コミュニケーションの機会を多く持つように運用する。

科目名	科目概要	連携企業等
卒業研究B	グループで各種テーマに対して、研究や調査、アプリケーション開発を行い、成果をプレゼンテーションする。企業の意見を反映してテーマを検討し、中間レビューや成果発表などで企業の評価をもらうことで実践力を育成する。	日本ユニシス株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。また、教育課程編成委員会などの意見を元に作成したカリキュラムを運用するために必要となる知識や技術と教員とのスキルを比較し、不足しているものを中心に研修計画を立てる。外部の教育機関が実施する研修または企業等から講師を招いての研修を受講する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
中島 みえ子	保護者 情報工学科在校生 保護者
中園 晴久	卒業生 平成6年度情報経理科 卒業生
浦川 美代子	自治会長 博多駅南1丁目1区 自治会長
大山 明	高等学校 久留米市立南筑高等学校 校長
杉野 知大	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
荒井 秀和	Training Center Japan 事務局長
馬場 伸一	NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム 事務局長

堀 浩信	福岡市経済観光文化局 国際経済コンテンツ部コンテンツ振興課 課長
伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部教育推進グループセクションチーフ
長沢 昭彦	一般社団法人 日本経営協会 九州本部長
高岡 宏光	三井情報株式会社 西日本営業部 西日本営業第三室 室長
戸倉 彩	日本マイクロソフト株式会社 テクニカルエバンジェリスト
岡部 浩太郎	SCSK九州株式会社 営業部 部長
竹末 雅輝	株式会社システナ 福岡開発センター センター長
芦原 秀一	株式会社ネットワーク応用技術研究所 取締役
小畑 昌之	安川情報システム株式会社 ソフトウェア研究開発センター 課長
金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社 第1システム本部 部長
白根澤 信孝	ユニアデックス株式会社 システムサービス二部 部長
松尾 昌弘	株式会社システムオーディット 代表取締役社長
宮崎 太一郎	株式会社サイバーコネクトツー 取締役副社長
今治 智隆	株式会社ヴァイス 代表取締役
須貝 克俊	九州アニメーション株式会社 代表取締役
矢野 修作	株式会社ディーゼロ 代表取締役
田上 喬	株式会社ハッピープロジェクト コンテンツ事業部 部長
大久保 英昭	看公税理士法人 黒岩公認会計士事務所 所長代理
小林 憲一	小林憲一税理士事務所 所長
岩永 茂敏	リコージャパン株式会社 九州事業本部 九州支社 MA事業部 公共担当室 室長
沖田 敏治	株式会社アイスリーラボ 代表取締役
菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム マーケティング営業戦略部 次長
下部 貴志	株式会社Flourish 総務部 部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abcc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp> <http://www.asojuku.ac.jp/abcc>

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報工学科)平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ハードウェア／ソフトウェア概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるコンピュータの基礎理論、コンピュータの構成要素、ソフトウェア、OSの機能に関する基礎的な知識を学ぶ。	1前	130		○			○		○		
○			データベース／設計概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われる関係データベース、正規化、SQL、DBMS管理、開発モデル、設計、開発、テスト、導入に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	52		○			○		○		
○			ネットワーク／セキュリティ概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるネットワークアーキテクチャ、LAN、WAN、TCP/IP、ネットワークセキュリティに関する基礎的な知識を学ぶ	1前	52		○			○		○		
○			アルゴリズムA	基本構造、変数、配列、基本的なアルゴリズムの手法を学ぶ	1前	78		○			○		○		
○			プログラミング概論A	基本情報技術者試験 午後試験で問われる言語に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	16		○			○		○		
○			ストラテジ／マネジメント概論	基本情報技術者試験 午前試験で問われるプロジェクトマネジメント、システム戦略、企業活動、法務に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	26		○			○		○		
○			情報処理試験午前対策	基本情報技術者試験の午前免除試験 直前対策	1前	24		○			○		○		
○			ハードウェア／ソフトウェア概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるコンピュータの基礎理論、コンピュータの構成要素、ソフトウェア、OSの機能に関する基礎的な知識を学ぶ。	1後	24		○			○		○		
○			データベース／設計概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われる関係データベース、正規化、SQL、DBMS管理、開発モデル、設計、開発、テスト、導入に関する基礎的な知識を学ぶ	1後	48		○			○		○		
○			ネットワーク／セキュリティ概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるネットワークアーキテクチャ、LAN、WAN、TCP/IP、ネットワークセキュリティに関する基礎的な知識を学ぶ	1後	24		○			○		○		
○			アルゴリズムB	擬似言語表現によりアルゴリズム構造を学ぶ	1後	48		○			○		○		

○		プログラミング概論B	基本情報技術者試験 午後試験で問われる言語に関する基礎的な知識を学ぶ	1後	24		○			○			○					
○		ネットワークセキュリティI	TCP/IPに関する基礎的なネットワーク知識、WindowsOSのネットワーク設定やセキュリティ設定等を学ぶ	1後	40		○			○			○					
○		ネットワークセキュリティII	LinuxOSのコマンドを学びネットワーク設定やセキュリティ設定等を学び、各種サーバーの役割を理解する	2前	56		○			○			○					
○		システム設計I	プログラム仕様書の作成練習を通して設計書の役割に関する理解を深める	1後	20		○			○			○					
○		システム設計II	Webシステム構築のための要件定義、外部設計、内部設計について実践的演習を通して理解を深める	2前	56		○			○			○					
○		ビジネスモデル概論	アイデア創出技法を学ぶと共に、創造したビジネスモデルの提案書作成技法を学ぶ	3後	60		○			○			○					
○		システム開発応用技術I	業界の技術動向を知り、自らその技術を習得する。	3後	30		○			○			○					
○		システム開発応用技術II	業界の技術動向を知り、自らその技術を習得する。	4後	30		○			○			○					
○		情報処理試験春期対策I	春期情報処理試験対策を行なう	1後	80		○			○			○					
○		情報処理試験集中講義	秋期情報処理試験対策を行なう	1後	60		○			○			○					
○		情報処理試験春期対策II A	春期情報処理試験対策を行なう	2前	48		○			○			○					
○		情報処理試験秋期対策II A	秋期情報処理試験対策を行なう	2前	32		○			○			○					
○		情報処理試験秋期対策II B	秋期情報処理試験対策を行なう	2後	50		○			○			○					
	○	情報処理試験春期対策II B (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	2後	24		○			○			○					
	○	情報処理試験春期対策III A (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	3前	48		○			○			○					

		○	情報処理試験 秋期対策Ⅲ A (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	3 前	32					○				○					
		○	情報処理試験 秋期対策Ⅲ B (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	3 後	50					○				○					
		○	情報処理試験 春期対策Ⅲ B (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	3 後	24					○				○					
		○	情報処理試験 春期対策Ⅳ A (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	4 前	48					○				○					
		○	情報処理試験 秋期対策Ⅳ A (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	4 前	32					○				○					
		○	情報処理試験 秋期対策Ⅳ B (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	4 後	50					○				○					
		○	情報処理試験 春期対策Ⅳ B (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	4 後	24					○				○					
○			プログラミング演習 I A	Javaプログラミングの基礎を学習し、制御文を中心としたプログラムアルゴリズムの理解を深める。	1 前	84					○				○					
○			プログラミング演習 I B	プログラミング演習 I Aに引き続きJava言語を学習し、オブジェクト指向プログラミングの理解を深める。	1 後	100					○				○					
○			プログラミング演習 II A	JavaコアAPIを使ったプログラミング技術を身につける。	2 前	56					○				○					
○			プログラミング演習 II B	デバッグを通じての問題とバグの解決手法を学ぶ。	2 後	60					○				○					
○			プログラミング演習 III	ロジック構築力を身につけ、プログラム開発の手順を学ぶ。	3 前	28					○				○					
○			プログラミング演習 IV	セキュアなWebアプリケーションを開発するために必要なセキュリティの考え方や知識、技術について体系的に学習する。	4 前	84					○				○					
○			データベース演習	データベースの概要を学習し、SQLの文法を身に付ける。	1 後	40					○				○					
○			UIデザイン演習 I	HTML言語とスタイルシートにより基本的なWebページを作成するための知識を身につける	1 後	20					○				○					

○		UIデザイン演習Ⅱ	JavaScriptにより応用的なWebページを作成するための知識を身につける	2前	28				○	○	○							
○		Webアプリケーション開発演習A	PHP/DBを利用したWebシステム構築に必要な開発技術を学ぶ。	2前	112				○	○	○							
○		Webアプリケーション開発演習B	PHP/DBを利用した実践的なWebプログラム開発をチームで行う	2後	150				○	○	○							
○		モバイルアプリケーション開発演習Ⅰ	Android上で動作するアプリケーションの開発における基礎技術を学ぶ。	2後	120				○	○	○							
○		モバイルアプリケーション開発演習Ⅱ	Android上で動作するアプリケーションを開発する。	3前	84				○	○	○							
○		サーバ構築演習	クラウド環境上にサーバーを構築しサービスを運用する手法を学ぶ。	3前	28				○	○	○							
○		プロジェクト開発演習A	PHPを用いてWebシステムを作成する技術を学ぶ。	3前	196				○	○	○							
○		プロジェクト開発演習B	チームごとに設計・開発を行う。成果発表会にて開発した成果をプレゼンテーションする。	3後	240				○	○	○							
○		卒業研究A	チームごとに研究テーマと目標を定め、システムの企画を行う	4前	280				○	○	○							
○		卒業研究B	卒業研究Aの企画を元に設計・開発を行う。成果発表会にて開発した成果をプレゼンテーションする。	4後	390				○	○	○	○	○					
○		GCBⅠ	グローバル社会で活躍する社会人に必要な人間力を育成する。「感謝と思いやり」をテーマに学ぶ。	1前	16				○	○	○							
○		GCBⅡ	グローバル社会で活躍する社会人に必要な人間力を育成する。「志」をテーマに学ぶ。	2前	16				○	○	○							
○		一般教養ⅠA	一般教養力としての文書作成力や読解力をつけるための演習を行う。	2前	28				○	○	○							○
○		一般教養ⅠB	一般教養力としての数学の基礎能力向上を目的として学習する。	2後	30				○	○	○							○
○		一般教養ⅡA	一般教養力としての数学の基礎能力向上を目的として学習する。	3前	28				○	○	○							○

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 ・卒業基準検定を取得していること。 ・学年の出席率が90%以上であること。 ・学生としてふさわしい生活態度であること。 	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。